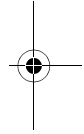
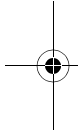
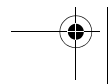
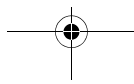
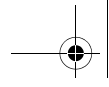


ユーザーズ・ガイド



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wide

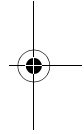
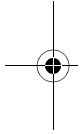




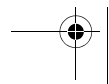
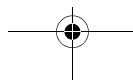
▼▼▼▼ AHA-2940Ultra/ 2940Ultra Wide

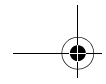
SCSISelect付属
PCI-to-UltraSCSIホストアダプタ

ユーザーズ・ガイド



 adaptec®





著作権について

© 1997-2001 Adaptec, Inc. All rights reserved. 本書のどの部分も、Adaptec, Inc., 691 South Milpitas Blvd., Milpitas, CA 95035からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

商標

Adaptec、Adaptecのロゴ、AHA、EZ-SCSI、およびSCSISelectはAdaptec社の商標であり、何らかの司法権に登録されている場合があります。

Windows、Windows NT、およびWindows 95/98は、Microsoft Corporationの登録商標です。

Flopticalは、Insite Peripheral社の商標です。

他のすべての商標は、各権利所有者の所有によるものです。

変更について

この文書の資料はすべて単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。本書の制作に際し正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが、本書中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する結果に関して、Adaptec社はいかなる責任も負いません。

Adaptec社は、ユーザーに対する事前の約束および告知なしに製品のデザインを変更する権利を留保します。

資料はすべてAdaptec社またはAdaptec社からライセンスを受けた会社(LICENSEE)によって印刷されたものです。これらの資料の使用の結果損害が生じても、それが必然的なものであろうと、特別なものであろうと、あるいは付随的なものであろうと、いかなる場合でも、Adaptec社とLICENSEEのどちらも損害に対する責任を負わないものとします。Adaptec社およびLICENSEEは、特定の目的に対する適合性あるいは市販品としての適合性は、明示的にも暗示的にもいっさい保証しません。

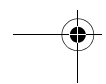
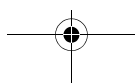
アダプテックテクニカルサポートとサービス

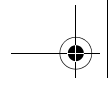
アダプテックの製品は、簡単にインストールして使えるように特別に開発されました。画面に表示される指示やヘルプ、マニュアルの制作にあたっては、わかり易く、使い易いものとなるよう十分配慮しております。これ以上の情報が必要な場合は、アダプテック社のテクニカルサポートへご連絡ください。

- 電話テクニカルサポート : 03-5308-6120
(受付時間 平日午前9時-12時、午後1時-6時 土、日、祭、祝日を除く)

アダプテックテクニカルサポートへご連絡されるときは、必ず以下の情報をご用意ください。

- アダプテックハードウェア製品のモデル及びTSID番号
本製品に同梱されているシールには、製品番号、シリアル番号の他にTSID (テクニカルサポートID番号) が記載されています。保証書に貼付して、テクニカルサポートへのお問合せの際に必ずご連絡ください。

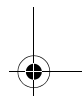
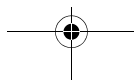
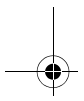
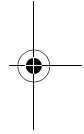
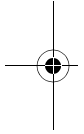


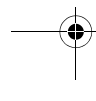
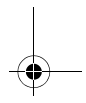
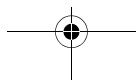
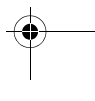
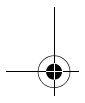
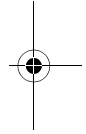
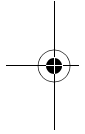
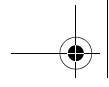


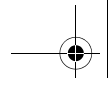
- アダプテックソフトウェア製品の名前とバージョン番号
- お使いになっているOSの種類とバージョン番号（例：Windows 98）
- アダプテック製品を購入された販売店名

アダプテックホストアダプタがコンピュータシステムに最初から内蔵されていたものである場合は、まずそのコンピュータメーカーに連絡して技術サービスをお受けください。日本以外の国では、それぞれの国の正規のAdaptec販売店にご連絡ください。

アダプテックジャパンインターネットホームページ
<http://www.adaptec.co.jp>







▼▼▼ 目次

1 インストールとセットアップ

ホストアダプタのインストール	1-3
SCSIコンフィグレーションについて	1-4
SCSI ID番号	1-4
SCSIターミネータ	1-5
SCSIデバイスのインストール	1-9
SCSIケーブルの選択	1-9
内部SCSIデバイスの接続	1-10
外部SCSIデバイスの接続	1-11
LEDコネクタの使用	1-12
コンピュータの再組立	1-12

2 コンフィグレーション

コンピュータのコンフィグレーション	2-1
ホストアダプタのコンフィグレーション	2-2
SCSISelectのデフォルト設定	2-2
SCSISelectユーティリティの起動	2-9
SCSIディスクユーティリティの使用	2-10
デバイスドライバのインストール	2-11

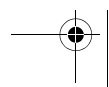
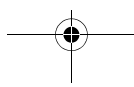
3 アドバンスドセットアップと コンフィグレーション

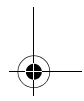
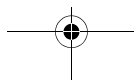
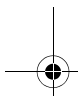
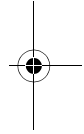
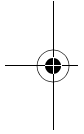
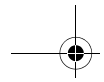
複数のホストアダプタの構成	3-1
---------------------	-----

A 支援が必要なとき

トラブル対策	A-1
その他の問題と解決	A-2
BIOSスタートアップメッセージ	A-3

索引





1

インストールとセットアップ

Adaptec AHA[®]-2940UltraとAHA-2940Ultra Wide PCI-to-UltraSCSIホストアダプタは、コンピュータのPCIバスとSCSIデバイス（ディスクドライブ、CD-ROMドライブ、スキャナ、テープバックアップ、リムーバブル・メディアドライブなど）との間の強力なマルチタスキングインタフェースとして機能します。AHA-2940Ultraにある内部SCSIコネクタ、または外部SCSIコネクタに合計7台までのSCSIデバイスを接続することができます。AHA-2940Ultra Wideには合計15台までのSCSIデバイスを接続することができます。本書では、この2つのホストアダプタをまとめて、AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideと呼びます。次ページの図1-1にAHA-2940Ultraの主要コンポーネントを、図1-2に2940Ultra Wideのコンポーネントを示します。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideを構成しなければならない場合、SCSISelect[™]コンフィグレーションユーティリティを使用することでコンピュータを開けたり、ボードを操作したりせずに、ホストアダプタの設定を変更することができます。SCSISelectユーティリティには、ハードディスクドライブの低レベルフォーマットや、検査するユーティリティなどもあります。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

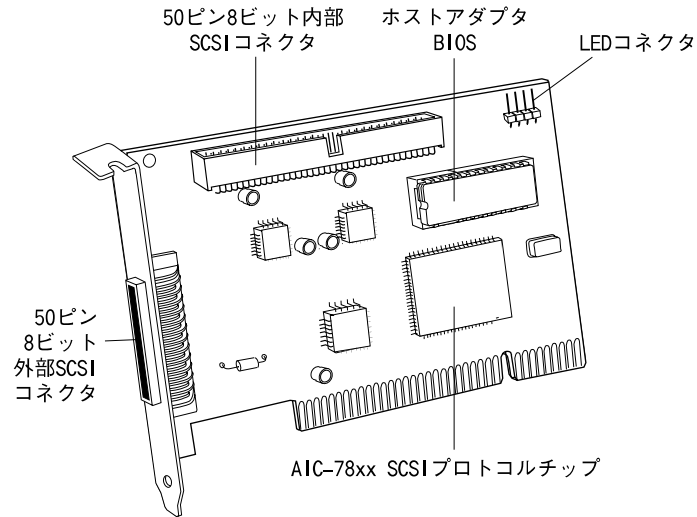


図1-1. AHA-2940Ultraのレイアウト

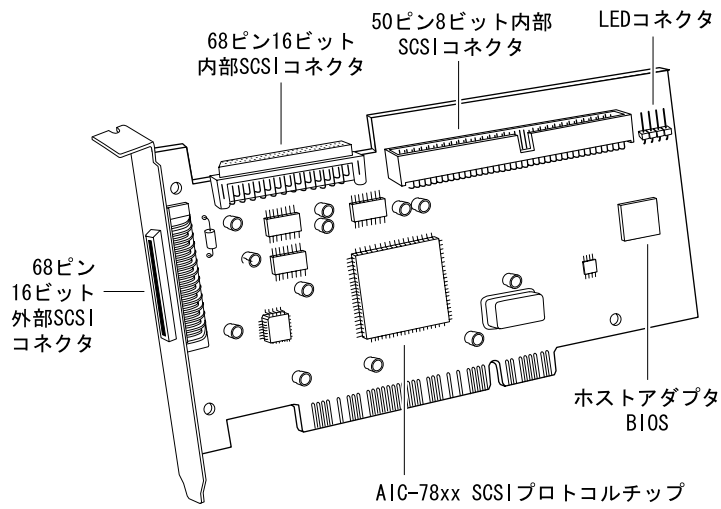
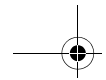


図1-2. AHA-2940Ultra Wideのレイアウト



インストールとセットアップ



ホストアダプタのインストール

ホストアダプタをインストールするには、下記の手順に従ってください。



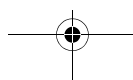
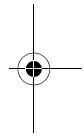
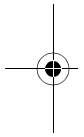
メモ : AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideなどの拡張カードをインストールする時の特別の操作や指示については、コンピュータの説明書を参照してください。

1. コンピュータと周辺装置の電源を切り、電源コードを外してください。
2. コンピュータのカバーを取り外します。
3. バスマスタデータ転送機能をサポートする未使用の 32 ビット PCI 拡張スロットを捜します。ネジを外し、カードスロットの開口部を覆っているブラケットを外してください。(コンピュータにホストアダプタを固定するときに使用するので、ネジはなくさないように注意してください。)

AT互換機のPCIスロットはISAまたはEISAスロットより短く、一般に白色となっています。

4. PCI 拡張スロットの中にホストアダプタを差込みます。接触部がスロットにきちんとはまるように、しっかり押し込んでください。
5. ホストアダプタが拡張スロットにしっかり固定されたら、手順3で取り外したネジを使い、ホストアダプタのブラケットを固定します。

まだコンピュータのカバーを戻したり、コンピュータや周辺装置を電源に接続したりしないでください。



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

SCSIコンフィグレーションについて

SCSIデバイスをインストールする前に、ここで説明するSCSIの基本的概念を理解しておいてください。この概念説明は、ホストアダプタとデバイスをセットアップし、正しく機能させる上で必要です。

SCSI ID番号

ホストアダプタ自体はもちろん、ホストアダプタに接続されるすべてのSCSIデバイスに、それぞれ独自のSCSI IDを割り当なければなりません (AHA-2940Ultraでは0~7、2940Ultra Wideでは0~15)。SCSI IDは下記の2つの目的のために使用されます。

- SCSIバスにあるそれぞれのSCSIデバイスを独自に定義するため
- SCSIバスでのデバイスの優先順位を決めるため

AHA-2940Ultraに接続されたSCSIデバイスの場合、SCSI ID 7が最も高い優先順位を持ち、SCSI ID 0が最低順位となります。AHA-2940Ultra Wideに接続されたデバイスの場合もSCSI ID 7が最高の優先順位となります。残りのIDは、降順で6~0と15~8の優先順位となります。



メモ : SCSI IDには、デバイスをホストアダプタにケーブル接続する順番を示す働きはありません。

ホストアダプタのIDは、デフォルト設定のSCSI ID 7のままにしておくようにお勧めします。何らかの理由で、AHA-2940Ultra/2940Ultra WideのSCSI IDを変更しなければならない場合は、2-2ページの「ホストアダプタの構成」をお読みください。ハードディスクやその他のデバイスのSCSI IDを変更する場合は、各デバイスの説明書を参照してください。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideは、AT互換機上でSCAM (SCSI Configured AutoMatically) プロトコルをサポートします。このプロトコルはSCSI IDを自動的に割当て、ブートアップ時のSCSI IDの衝突を自動的に解決します。システムにSCAM機能をサポートするSCSIディスクドライブや他のデバイスを使用している場合は、これらのデバイスにSCSI IDをマニュアルで割り当てる必要はありません。SCAMサポート機能を有効にするには、2-2ページの「ホストアダプタの構成」をお読みください。

しかし、現在使用されているほとんどのSCSIデバイスは、SCAM機能をサポートしません。このようなデバイスのSCSI IDは、マニュアルで設定しなければなりません。デバイスのSCSI IDを変更する場合は、各デバイスの説明書を参照してください。

インストールとセットアップ



メモ：AT互換機でシステムをAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideに接続されているSCSIデバイスからブートする予定の場合は、SCSISelectユーティリティのBoot Target ID設定を、ブートを開始したいデバイスのSCSI IDと対応するようにします (2-2ページの「ホストアダプタのコンフィグレーション」をお読みください)。

コンピュータに複数のSCSIホストアダプタをインストールする場合は、各アダプタは別のSCSIバスを作ります。SCSI IDは、IDを別のSCSIバスにデバイスを割り当てる限り、同じ番号を再度使用することができます (たとえば、各SCSIバスに、SCSI ID 0のデバイスを作ることが可能です)。

SCSIターミネータ

信頼性の高い通信を確保するためには、必ずSCSIバスを正しく終端しなければなりません。この終端は、ターミネータと呼ばれているレジスタを使って制御します。ターミネータは、SCSIバスの両端に置きます (または、両端のSCSIバスを有効します)。この両方の端の間にある全てのデバイスでは、ターミネータを外しておかなければなりません (または、無効にします)。

AHA-2940Ultraの終端

AHA-2940Ultraでの終端は、SCSISelectユーティリティのソフトウェアコマンドを使って制御します。デフォルト設定はAutomatic (自動) で、次のように機能します。

- AHA-2940Ultraにより内部SCSIコネクタまたは外部SCSIコネクタのどちらかに、ケーブルが接続されていると検知された場合、そのターミネータは有効になります (AHA-2940UltraはSCSIバスの端にあります)。
- AHA-2940Ultraによりケーブルが内部SCSIコネクタと外部SCSIコネクタの両方に、接続されていると検知された場合、そのターミネータは無効になります (AHA-2940Ultraは両端にあるSCSIバスの間にあります)。

AHA-2940Ultraの設定はデフォルトのAutomatic (自動) のままにしておくようにお奨めします。AHA-2940Ultraのターミネータ設定をマニュアルで有効、または無効にするには、2-2ページの「ホストアダプタのコンフィグレーション」をお読みください。図1-3に、AHA-2940Ultraのターミネータの例を示します。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

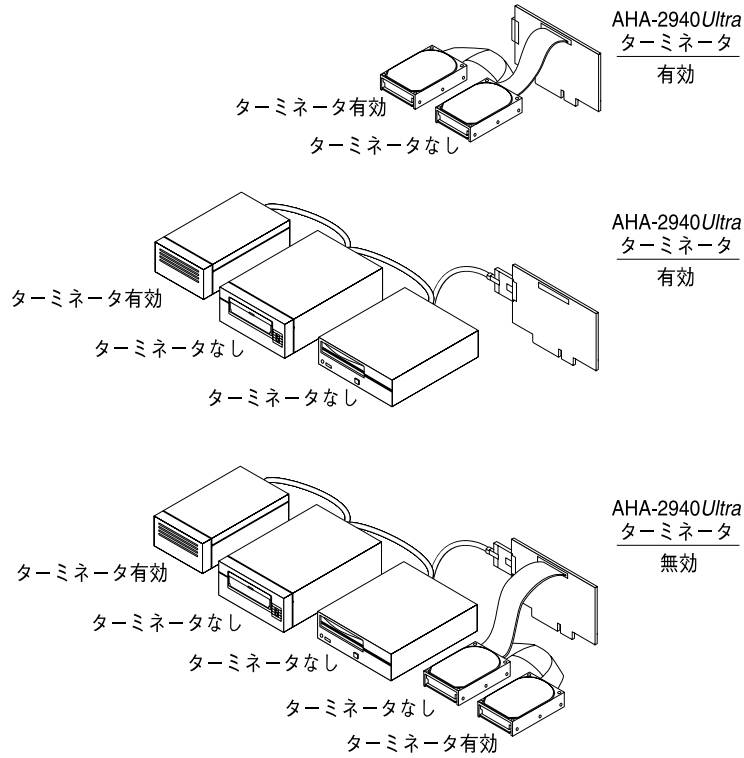


図1-3. AHA-2940Ultraの終端の例

AHA-2940Ultra Wideの終端

AHA-2940Ultra Wideでの終端は、SCSISelectユーティリティのソフトウェアコマンドを使って制御します。デフォルト設定はAutomatic(自動)です。Automaticに設定されている場合、SCSIケーブルが3個のSCSIコネクタのうちの1つに接続されているとAHA-2940Ultra Wideが検知すると、16ビットのWide SCSIバスのバイトと高バイトのターミネータ設定を自動的に行います。低バイトは、8ビットのSCSIを制御し、低バイトと高バイトは両方で16ビットのWide SCSIを制御します。

AHA-2940Ultra Wideの設定はデフォルトのAutomatic(自動)のままにしておくようにお奨めします。AHA-2940Ultra Wideのターミネータ設定をマニュアルで有効、または無効にしたい場合は、2-2ページの「ホストアダプタのコンフィグレーション」をお読みください。下記の表にマニュアルで構成する場合に役に立つようにターミネータ設定をリストにして示します。図1-4と図1-5にAHA-2940Ultra Wideのターミネータの例を示します。

インストールとセットアップ

	AHA-2940Ultra	Wideのターミネータ
AHA-2940Ultra Wideに接続されたデバイス	Low	High
68ピンの内部コネクタのみ	ON	ON
68ピンの外部コネクタのみ	ON	ON
68ピンの内部コネクタと68ピンの外部コネクタ	OFF	OFF
50ピンの内部コネクタのみ	ON	ON
50ピンと68ピンの内部コネクタのみ	OFF	ON
50ピンの内部コネクタと68ピンの外部コネクタ	OFF	ON

! **ご注意:** AHA-2940Ultra Wideホストアダプタの3つのコネクタすべてにSCSIデバイスを接続しないでください。

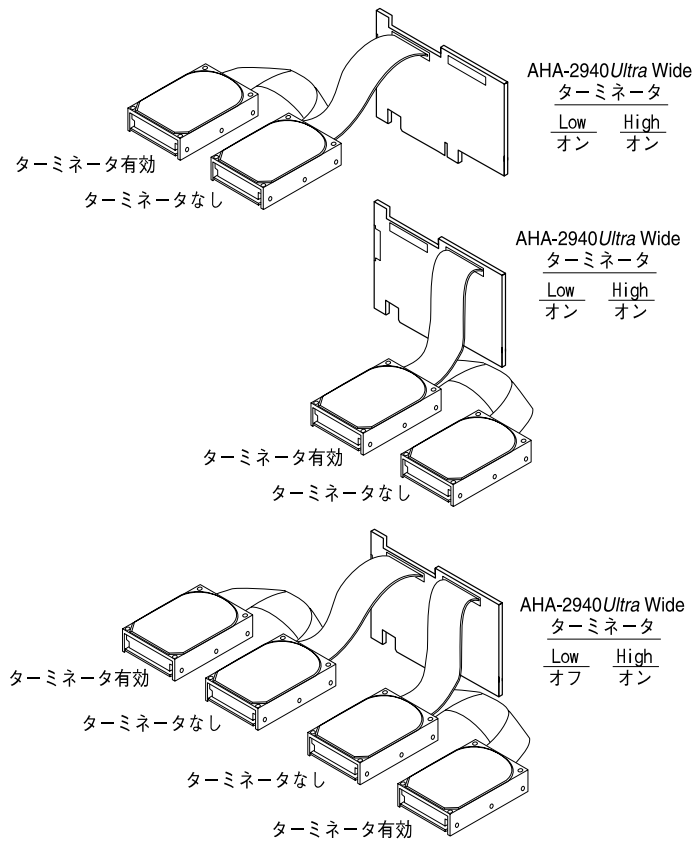


図1-4. AHA-2940Ultra Wideのターミネータの例

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

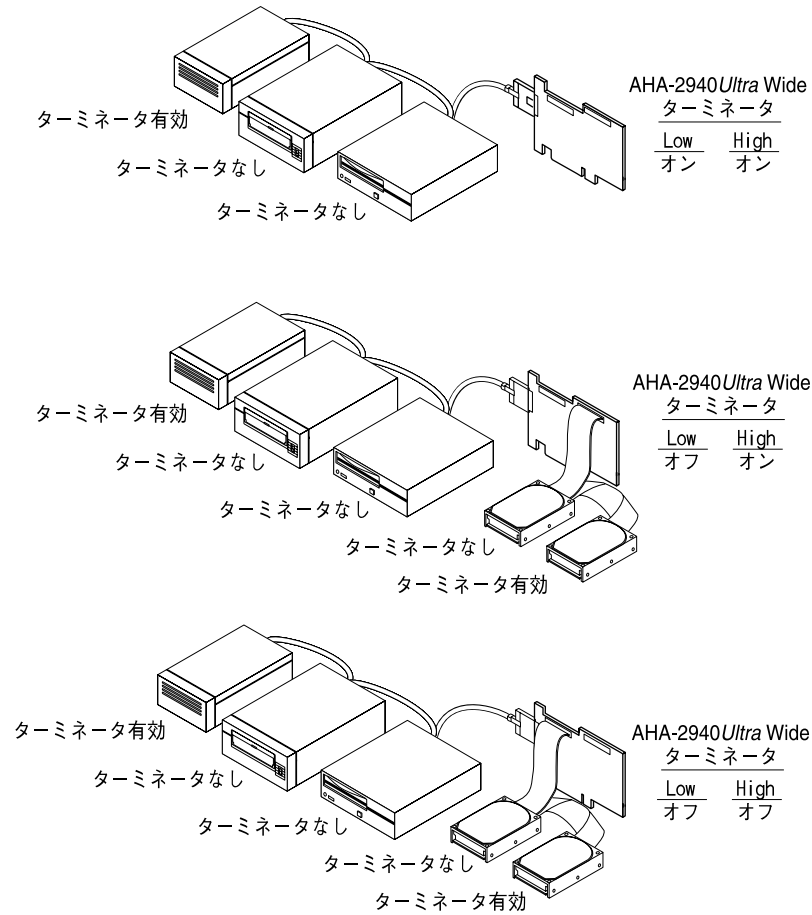


図1-5. AHA-2940Ultra Wideの終端の例

SCSIデバイスの終端

各SCSIデバイスの終端を有効にするか、無効にするか判断する方法については、それぞれのデバイスの説明書をお読みください。ほとんどの内部SCSIデバイスは、ジャンパやスイッチを制御することで終端設定ができるようになっていいます。またレジスタモジュールを取り付けたり、取り外したりしなければターミネータ設定のできない内部SCSIデバイスもあります。また外部SCSIデバイスの場合ほとんどが、ターミネータプラグ（小さいプラグに埋め込まれたレジスタパック）をつないだり、外したりして終端を制御しています（1-11ページの図1-6を参照）。

インストールとセットアップ

SCSIデバイスのインストール

AHA-2940Ultraには、合計7個までの内部8ビットSCSIデバイスと外部8ビットSCSIデバイス（スタンダード）を接続することができ、AHA-2940Ultra Wideには、15台までの内部/外部SCSIデバイス（7個の8ビット内部デバイスと8個の16ビットのWide内部/外部SCSIデバイス、あるいは15個のWide内部/外部SCSIデバイス）を接続することができます。

SCSIケーブルの選択

SCSIデバイスを接続するために必要なケーブルは下記の表に示すように、インストールしているデバイスのタイプで決められます。

SCSIデバイスのタイプ	AHA-2940Ultra	AHA-2940Ultra Wide
8ビットの内部SCSI	50ピンの内部SCSIケーブル	50ピンの内部SCSIケーブル
8ビットの外部SCSI	50ピンの高密度外部SCSIケーブル	—
16ビットの内部ワイドSCSI	—	68ピンの内部SCSIケーブル
16ビットの外部ワイドSCSI	—	68ピンの外部SCSIケーブル

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをアダプテックのキットとして購入された場合は、このキットの中に内部SCSIケーブルが入っていますので、このケーブルで2台までの内部SCSIデバイスを接続することができます（AHA-2940Ultraキットには50ピンの内部SCSIケーブルが1本、AHA-2940Ultra Wideのキットには50ピンと68ピンの内部SCSIケーブルの両方が入っています）。3台以上の内部SCSIケーブルを接続する場合は、全てのデバイスを接続できる十分な数のコネクタが付いた内部SCSIケーブルを入手してください。

アダプテックは高品質の外部SCSIケーブルを販売しています。お手持ちのSCSIデバイスにより接続に必要なケーブルが決定されます。よくご確認の上、次の型番にてご購入ください。詳しくは、販売代理店にお問合わせください。

ホストアダプタSCSI機器間ケーブル対応表

		周辺機器 [デジチェーン (1番目)] のコネクタ形状			
		SCSI1	SCSI2	SCSI2	SCSI3
対応SCSI ホスト アダプタ	ホストアダプタ側の コネクタ形状	アンフェノール 50ピン/フル サイズ	シールド型 50ピン/高密度 (ピンタイプ)	シールド型 50ピン/高密度 (ペローズタイプ)	シールド型 68ピン/高密度 (ピンタイプ)
AHA-2940U	SCSI2シールド型 50ピン/高密度 (ピンタイプ)	ACK/H-L	ACK/H-H	ACK/H-N	ACK/H-WP
A H A 2940UW	SCSI3シールド型 68ピン/高密度 (ピンタイプ)	ACK/L-WP	ACK/H-WP	ACK/N-WP	ACK/WP-WP



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

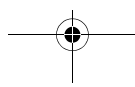
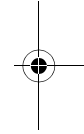
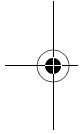


メモ：複数のFast SCSIデバイスをホストアダプタに接続する場合は、(内部と外部の)ケーブルの総全長は3メートルを超えないようにし、信頼性の高い運用が確保できるようにしてください。Fast SCSIデバイスを接続していない場合は、ケーブルの総全長は、6メートルまでとします。また、3台までのUltra SCSIデバイスを接続する場合は、総全長3メートル以内、7台の場合には1.5メートル以内のケーブル接続にしてください。使用しているデバイスがFast (またはUltra) SCSIデバイスかどうか判断する場合は、デバイスの説明書を参照してください。

内部SCSIデバイスの接続

内部SCSIデバイスを接続している場合は、内部SCSIケーブルにすべてのデバイスを接続できるだけの十分のコネクタがついているか確認してください。

1. インストールするSCSIデバイスのそれぞれの用意をしてください。デバイスSCSI IDとターミネータを構成します(ケーブルに接続されている最後の内部デバイスを終端します)。手順については、各デバイスの説明書と1-4ページの「SCSIのコンフィグレーションについて」を参照してください。
2. コンピュータにSCSIデバイスをインストールしてください。手順は、コンピュータとデバイスの説明書を参照してください。
3. 内部SCSIケーブルの片方の端にあるコネクタを、ホストアダプタの内部SCSIコネクタに接続してください。
ケーブルの片方の端にあるカラーの縞模様を、ホストアダプタのコネクタのピン1と並べます。コネクタのピン1には通常、小さい三角のマーク(▲)または「1」の印が付いています。
4. ケーブルにある残りのコネクタを、デバイスの背面にあるコネクタにプラグ接続します。
ケーブルのカラーの縞模様を、デバイスコネクタのピン1と並べます。
5. DC電源をSCSIデバイスにある電源コネクタに接続します(コンピュータの電源から)。



インストールとセットアップ

外部SCSIデバイスの接続

ホストアダプタに外部SCSIデバイスを接続する場合は、インストールするそれぞれの外部デバイス用に外部SCSIケーブルを用意してください。

1. インストールする SCSI デバイスのそれぞれの用意をしてください。SCSI IDを設定し、終端プラグを最後の外部デバイスに接続します。デバイスの説明書と1-4ページの「SCSIのコンフィグレーションについて」を参照してください。
2. 外部 SCSI ケーブルの片方の端にあるコネクタを、ホストアダプタの外部 SCSIコネクタに接続してください。
3. ケーブルのもう片方の端にあるコネクタを、外部SCSIデバイスにあるSCSIコネクタの何れか1つにプラグ接続します。
4. 他の外部SCSIデバイスを接続する場合は、それぞれのデバイスを1つ前のデバイスに接続し、すべての外部SCSIデバイスを接続するまで、デジチェーン状に接続を繰り返します（図1-6を参照）。

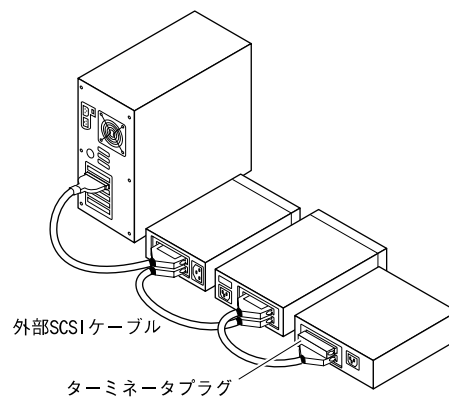


図1-6. 外部SCSIデバイスのデジチェーン接続

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

LEDコネクタの使用（オプション）

ほとんどのコンピュータの前面パネルにはLEDライトがあり、ディスクがアクティブな状態にあるかどうかを示します。マザーボードのLEDコネクタからケーブルを外し、ホストアダプタのLEDコネクタに接続すると（図1-7を参照）、コンピュータの前面パネルにあるLEDは、SCSIバスがアクティブになっていると点灯します。

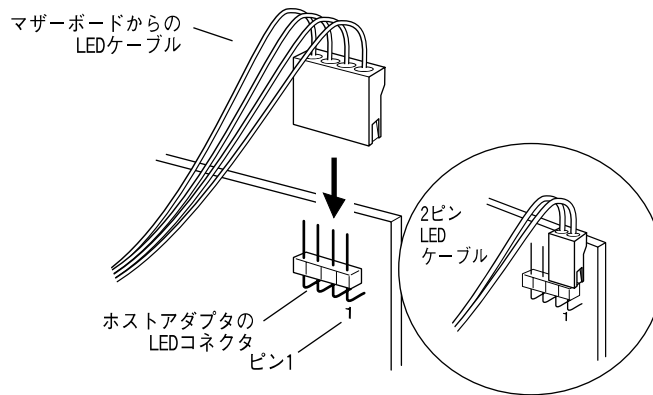


図1-7. LEDケーブルの接続

コンピュータの再組立

すべての電源スイッチがオフになっていることを確認し、コンピュータのカバーを戻し、それからコンピュータと周辺装置に電源ケーブルを再接続します。コンピュータや周辺装置の電源を入れる前に、第2章の「コンフィグレーション」の説明を読んでください。コンピュータとホストアダプタの構成に必要な情報が記載してあります。



2

コンフィグレーション

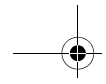
コンピュータのコンフィグレーション

ホストアダプタをインストールした後も、コンピュータがこのホストアダプタを認識しない場合（エラーメッセージが表示される、またはどの接続SCSIデバイスにもアクセスできない）、コンピュータのセットアッププログラムを実行し、PCIコンフィグレーションパラメータをチェックします。通常AT互換機では、コンピュータをブートするときには、指定のキーを組み合わせることでセットアッププログラムを起動することができます。NEC PC-9821シリーズでは、コンピュータ本体に付属のPCIセットアップユーティリティでプログラムを起動します（コンピュータの説明書を参照してください）。下記に、セットアッププログラムを実行するときに行わなければならないことを示します。



メモ：コンピュータオプションの中には、決められたPCIバススロットに対してのみ有効なものがあります。オプションを変更する場合は、必ずホストアダプタがインストールされているスロットのオプションを設定するようにしてください。どのスロットがそれぞれの番号に対応しているか確実にわからない場合は、コンピュータの説明書を参照してください。

- AT互換機セットアッププログラムに **Interrupt Type** あるいは **Interrupt Line** オプションがある場合は、**Int-A** または **Interrupt Type = A** を選択してあるか確認してください。システム設計によりですが、マザーボードのジャンパ設定を変更しなければならない場合もあります。
- **Triggering Interrupt** オプションがある場合は、必ず **Level** を選択してください。



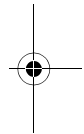
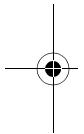
AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド



- PCI スロットのバスマスタリング機能を有効、無効にするオプションがある場合は、必ず有効を選択してください。
- 個々のPCIスロットを有効、無効にするオプションがある場合は、ホストアダプタがインストールされているスロットを、有効にしてください。
- AT互換機にISA（またはEISA）ボードとPCIボードが組み合わせて使用されている場合は、ISA/EISAボードにUsed（使用中）のマークを付け、システムBIOSがこれらのIRQを他のPCIボードに割り当てることがないようにしてください。
- BIOSがPCIボードに対し有効なIRQを確保しており、これらのIRQをマニュアルで割り当てなければならないことがあります。

ホストアダプタのコンフィグレーション

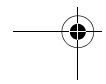
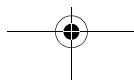
AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideには、メニュー方式のSCSISelectコンフィグレーションユーティリティが入っており、このユーティリティによりコンピュータを開けたり、ボードを操作したりせずに、ホストアダプタの設定を変更することができます。SCSISelectにはSCSIディスクユーティリティも入っており、SCSIハードディスクドライブを低レベルフォーマットしたり、検査したりすることができます。



SCSISelectのデフォルト設定

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideは、次ページの表に示すようにデフォルト設定されています。大体のPCIコンピュータは、このデフォルト設定で正しく作動することができます。このデフォルト設定を変更する必要がない場合は、SCSISelectを実行する必要はありません。2-11ページの「デバイスドライバのインストール」に進んでください。

どんなときに設定変更が必要となるかについては、次ページの各設定の説明を参照してください。デフォルト設定を変更しなければならない場合や、ディスクをフォーマットしたり、検査したい場合は、ユーティリティを起動するまえに2-9ページの「SCSISelectユーティリティの起動」を参照してください。



コンフィグレーション

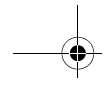
	デフォルト設定
ホストアダプタの基本設定	
Host Adapter SCSI ID (ホストアダプタ SCSI ID)	7
SCSI Parity Checking (SCSIパリティチェック)	Enabled
Host Adapter SCSI Termination (ホストアダプタ SCSIターミネーション)	Automatic
ブートデバイス設定 (AT互換機のみ)	
Boot SCSI ID	0
Boot LUN Number ¹	0
SCSIデバイスの設定	
Initiate Sync Negotiation (同期転送の取り決めに起動する)	Yes (有効)
Maximum Sync Transfer Rate (最大同期転送速度)	10 MB/秒 ³ 20 MB/秒 ²
Enable Disconnection (ディスコネクトを有効にする)	Yes (有効)
Initiate Wide Negotiation ² (ワイド転送の取り決めに起動する)	Yes (有効)
Send Start Unit Command ⁴ (スタートユニットコマンドを送る)	No (無効)
BIOS Multiple LUN Support ⁴ (AT互換機のみ)	Disabled
Include in BIOS Scan	Yes (有効)
アドバンスドコンフィグレーション設定 (AT互換機の場合)	
Plug and Play SCAM Support	Disabled
Reset SCSI Bus at IC Initialization	Enabled
Host Adapter BIOS	Enabled
Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte ⁴	Enabled
Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks ⁴	Boot only
Display <Ctrl><A> Message During BIOS Initialization ⁴	Enabled
BIOS Support for Bootable CD-ROM ⁴	Enabled
BIOS Support for Int 13 Extensions ⁴	Enabled
アドバンスドコンフィグレーション設定 (NEC PC-9821シリーズのみ)	
Support for Ultra SCSI Speed	無効

- ¹ Multiple LUN Supportが有効の時のみ設定可能
- ² AHA-2940Ultraの場合にのみ有効
- ³ AHA-2940Ultra Wideの場合にのみ有効
- ⁴ ホストアダプタ BIOSが有効な場合にのみ有効

ホストアダプタ基本設定

基本となるホストアダプタの設定は、SCSISelectの設定の中で最も変更を必要とする設定です。

- **Host Adapter SCSI ID** (ホストアダプタ SCSI ID) —このオプションを選択することで、ホストアダプタの SCSI IDを設定することができます。デフォルトの設定は SCSI ID 7で、この場合、SCSIバスの中でホストアダプタが最も高い優先順位を持つことになります (1-4ページの「SCSI ID番号」を参照)。ホストアダプタの SCSI IDの設定は7のまま変えないようにすることをお奨めします。



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド



- **SCSI Parity Checking** (SCSIパリティチェック) —このオプションを選択することにより、SCSIバスでデータが正確に転送されているか、ホストアダプタが検査するかどうかを決めることができます。デフォルト設定は有効です。AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideに接続されているSCSIデバイスの中にSCSIパリティ機能をサポートしないものがある場合は、SCSIパリティチェック機能は、無効にしてください。ほとんどのSCSIデバイスはSCSIパリティをサポートします。デバイスがSCSIパリティをサポートするかどうかわからない場合は、デバイスの説明書を参照してください。
- **Host Adapter SCSI Termination** (ホストアダプタSCSIターミネーション) —このオプションにより、ホストアダプタでSCSI終端を構成することができます。AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideのデフォルト設定は自動です。AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideの設定は、デフォルトの自動のまま変えないでおくことをお奨めします。終端の設定をマニュアル操作で行いたい場合は、1-5ページの「SCSIターミネータ」を参照してください。

ブートデバイスの設定 (AT互換機のみ)

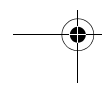
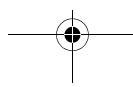
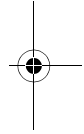
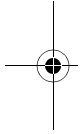
ブートデバイスを設定することで、どのデバイスからコンピュータをブートするか指定することができます。

- **Boot SCSI ID** —このオプションにより、どのデバイスからブートしたいか、SCSI IDで指定することができます。デフォルト設定はSCSI ID 0です。ここで選択されたSCSI IDはブートデバイスで構成されたIDと対応しなければなりません (1-4ページの「SCSI ID番号」を参照)。
- **Boot LUN Number** —ブートデバイスに複数のLUN (Logical Unit Numbers) とMultiple LUN Supportが有効になっている場合 (2-7ページの「アドバンスドコンフィグレーション設定」を参照してください)、このオプションを使用することで、どのブートデバイスからブートするか指定することができます。デフォルト設定はLUN 0です。

SCSIデバイスの設定

このオプションにより、SCSIバスにある各SCSIデバイスに特定のパラメータを構成することができます。デバイスを構成するには、そのデバイスに割り当てられているSCSI IDを知っていなければなりません。SCSI IDがわからない場合は、2-10ページの「SCSIディスクキューティリティの使用」を参照してください。

- **Initiate Sync Negotiation** (同期転送の取り決めを起動する) —このオプションを使用することで、デバイスとホストアダプタの間での同期データ転送ネゴシエーション (同期ネゴシエーション) を、ホストアダプタにより起動できるようにするかどうかを決めることができます。デフォルト設定はYesです。



コンフィグレーション

同期ネゴシエーションはSCSIの機能で、この機能によりホストアダプタとホストアダプタに接続されているSCSIデバイスが同期モードでデータを転送することが可能となります。同期データ転送は非同期データ転送よりも高速です。

SCSIデバイスがこの機能で起動した場合は、ホストアダプタも同期ネゴシエーションに応答して動作します。ホストアダプタもSCSIデバイスも同期ネゴシエーションを起動していない場合は、データは非同期で転送されます。

ほとんどのSCSIデバイスが同期ネゴシエーションの機能をサポートするため、また、非同期データ転送より高速で転送することができるため、通常、この同期ネゴシエーションの開始の設定は有効のままにしておいてください。



メモ：古いSCSI-1デバイスの中には、同期ネゴシエーションをサポートしないものもあり、このような場合に同期ネゴシエーションの開始をyesに設定してあると、コンピュータの操作状態がエラーとなったり、ハングアップしたりする原因となります。このような古いSCSI-1デバイスに対しては、同期ネゴシエーションの開始をNoに設定してください。

- **Maximum Sync Transfer Rate** (最大同期転送速度) —このオプションを使用することで、ホストアダプタがサポートする最大同期転送速度を設定することができます。デフォルト設定はAHA-2940Ultraでは10.0、AHA-2940Ultra Wideでは20.0です。

ホストアダプタはUltraSCSIの最高値である20.0 MB/秒の速度までサポートします (AHA-2940Ultra Wideは、40.0 MB/秒の効率のよい最大同期転送速度をサポートします)。使用しているデバイスがUltraSCSIデバイスの場合は、20.0の最高値まで使用することができます。デバイスがUltraSCSIデバイスでない場合は、最高値は10.0となります。

ホストアダプタが同期データ転送を使用しないように設定されている場合は (同期ネゴシエーションの開始がNoに設定されている場合)、最大同期転送速度はホストアダプタがネゴシエーション中にデバイスから受け入れる最高速度となります。(これはスタンダードSCSIプロトコルです。)

- **Enable Disconnection** (ディスコネクトを有効にする) —このオプションにより、ホストアダプタを使用することで、SCSIデバイスをSCSIバスからディスコネクトできるかどうかを指定することができます (ディスコネクト/リコネクト (切断/再接続) と呼ぶこともあります)。ディスコネクトが可能になっている場合、SCSIデバイスが一時的にディスコネクトされている間、ホストアダプタはSCSIバスを使い他の操作を行うことができます。デフォルト設定はYesです。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

ホストアダプタに複数のSCSIデバイスが接続されている場合は、ディスコネクトの有効をyesのままにしておいてください。SCSIバスのパフォーマンスが最適化されます。ホストアダプタにSCSIデバイスが1台しか接続されていない場合は、ディスコネクトの有効をNoに設定し、パフォーマンスが少しでも良くなるようにしておきます。

- **Initiate Wide Negotiation** (ワイド転送の取り決めに起動する) — このオプションはAHA-2940Ultra Wideのみで使用でき、ホストアダプタが8ビットのデータ転送ではなく、16ビットのデータ転送 (ワイドネゴシエーション) を使用できるようにするか決めることができます。デフォルト設定はYesです。



メモ : 8ビットのSCSIデバイスでは、ワイドネゴシエーションの機能を使用すると障害が発生し、エラーやハングアップ状態になることがあります。このようなデバイスでは、ワイドネゴシエーションの開始はNoに設定してください。

Yesに設定してあるときには、ホストアダプタは16ビット転送を行おうとします。Noに設定してあるときには、SCSIデバイス自体からワイドネゴシエーションを要求しなければ、8ビットのデータ転送が使用されます。Wide SCSIのデータパスのサイズは通常の8ビットデータパスの2倍となるため、16ビットのデータ転送を使用した場合は、転送速度は2倍となります。たとえば、10 MB/秒の転送速度は20 MB/秒となり、20 MB/秒の転送速度 (UltraSCSI) は40 MB/秒となります。

- **Send Start Unit Command** (スタートユニットコマンドを送る) — このオプションを有効にすることで、システムをブートしたときに、スタートユニットコマンドをSCSIデバイスに送るかどうかを決めることができます (ほとんどのデバイスでこのような設定を行う必要はありません)。デフォルト設定はNoです。

このオプションをYesにしてあるときには、コンピュータをブートしたときに、ホストアダプタが1つずつSCSIデバイスを起動できるようにし、コンピュータの電源にかかる荷重を低減することができます。Noに設定されているときには、ブートアップ時に、デバイス全てと一緒に電源オンとなります。使用するデバイスは、コマンドに対して応答できるように、前もってジャンパ等を設定しておかなければなりません。



メモ : 多数のデバイスに対しスタートユニットコマンドの転送をyesに設定してある場合、ブート時間は各ドライブを起動するまでにかかる時間の長さによって変わってきます。

コンフィグレーション

- **BIOS Multiple LUN Support** (AT互換機のみ) –このオプションにより複数のLUNのあるSCSIデバイスからのブートをサポートするかどうかを決めることができます。デフォルト設定は無効です。ブートデバイスに複数のLUNがある場合は、このオプションを有効にしてください。
- **Include in BIOS Scan** (BIOSによるデバイススキャンの使用) –このオプションにより各々のSCSI ID毎にBIOSによるデバイススキャンを行うかを設定します。デフォルト設定はYes (有効) です。

アドバンストコンフィグレーション設定

アドバンストコンフィグレーションの設定は、どうしても変更しなければならない場合を除き、変更しないでください。これらの機能のほとんどは、AT互換機を使用する場合に有効です。これは、それら機能がNEC PC-9821シリーズ上では意味のないものであるためです。但し、Ultra SCSIサポート機能に関しては、NEC PC-9821シリーズ上で使用できます。

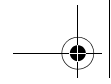
- **Plug and Play SCAM Support** –このオプションにより、AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideが、自動的にSCSI IDを、SCAMプロトコルをサポートするSCSIデバイスに割り当てるかどうかを設定することができます (1-4ページの「SCSI ID番号」を参照)。デフォルト設定は無効です。

ほとんどのSCSIデバイスは、SCAMプロトコルを許容するためnon-SCAMデバイスに対してもこのオプションを有効にすることができます。まれなケースではありますが、古いSCSI-1デバイスの中にSCAMを許容しないものがあり、コンピュータがハングアップしたり、操作エラーになったりすることがあります。このような場合は、このオプションを無効にしてください。

- **Reset SCSI Bus at IC Initialization** –このオプションにより、SCSI BIOS初期化時 (Power on/リセット後) にSCSI Busリセットを出力させるかを設定します。デフォルト設定は有効です。
- **Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte** –このオプションにより、拡張変換機能は1 GBより大きい容量を持つSCSIハードディスクを使用できるようになります。デフォルト設定は有効です。



ご注意：変換スキームを変更する場合は、必ずディスクドライブのバックアップを取っておいてください。変換スキームを別のスキームに変えるとすべてのデータは消去されます。



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド



SCSIホストアダプタのスタンダードスキームでは、最高1 GBの容量を使用することができます。1 GBより大きい容量のディスクドライブをサポートできるように、AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideには拡張変換スキームが用意されています。このスキームは、最大パーティションサイズ2 GBのDOSでは、8 GBの大きさまでのディスクドライブをサポートします。

拡張BIOS変換機能は、DOS 5.0以上でのみ使用することができます。NetWare、OS/2、Windows NTまたはUNIXなど他のオペレーティングシステムを使用している場合は、このオプションを有効にする必要はありません。

1 GBより大きいディスクドライブを区切って使用するときには、通常行っているように、DOS fdiskユーティリティを使用してください。拡張変換ではシリンダのサイズは、8 MBまで増やすことができるため、選択するパーティションサイズは、8 MBの倍数でなければなりません。8 MBの倍数以外のサイズを要求すると、fdiskが8 MBの倍数に最も近い数字に丸めます。

- **Host Adapter BIOS**—このオプションにより、ホストアダプタ BIOS を有効、無効にすることができます。デフォルト設定はYes (有効) です。

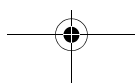


メモ：ホストアダプタ BIOS が有効の場合のみ、設定可能にならない SCSISelect オプションがあります。2-3 ページの表に、これらのオプションを示します。

ホストアダプタに接続されている SCSI デバイスからブートする場合は、必ず BIOS を有効にしてください。SCSI バスにある周辺装置 (たとえば、CD-ROM ドライブ) がすべてデバイスドライバで制御され、BIOS を必要としない場合は、ホストアダプタ BIOS は無効にしてください。

- **Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks**—このオプションにより、ホストアダプタで、どのようにリムーバブル・メディアドライブをサポートするか設定することができます。デフォルト設定はブートのみです。このオプションには下記の選択項目があります。

- **Boot Only** - ブートデバイスとして指定されるリムーバブル・メディアドライブのみが、ハードディスクドライブとして処理されます。
- **All Disks** - BIOS がサポートするすべてのリムーバブル・メディアドライブがハードディスクドライブとして処理されます。
- **Disabled** - リムーバブル・メディアドライブが、ハードディスクドライブとして処理されることはありません。この状態では、ドライブが BIOS で制御されないため、ソフトウェアドライバが必要となります。



コンフィグレーション



ご注意：リムーバブル・メディアSCSIデバイスがホストアダプタBIOSで制御される場合は、システムがオンの間、メディアを絶対に取りはずさないでください。データが消えてしまうことがあります。システムがオンの時、メディアを取り出した場合は、デバイスドライバをインストールし、このオプションを無効にしてください。

- **Display <Ctrl-A> Message During BIOS Initialization**—このオプションにより、システムブートアップ時に、Press <Ctrl> <A> for SCSISelect (TM) Utility!のメッセージを画面に表示するかどうか設定することができます。デフォルト設定は有効です。この設定が無効に設定されている場合には、ホストアダプタBIOSバナーが表示された後、[Ctrlキー] + [Aキー] を押すことで、SCSISelectユーティリティを呼び出すことができます。
- **BIOS Support for Bootable CD-ROM**—このオプションにより、ホストアダプタBIOSがCD-ROMドライブからのブートをサポートするかどうかを設定することができます。デフォルト設定は有効です。
- **BIOS Support for Int 13 Extensions**—このオプションにより、ホストアダプタBIOSが、1024シリンダより大きい容量のディスクをサポートするかどうかを設定することができます。デフォルト設定は、有効です。
- **Support for Ultra SCSI Speed (NEC PC-9821シリーズのみ)** —このオプションにより、ホストアダプタのUltra SCSI転送速度を設定することができます。デフォルト設定は無効です。

SCSISelectユーティリティの起動

AT互換機の場合

ブート時に下記のプロンプトが表示されたときに、[Ctrlキー] + [Aキー] を押すとSCSISelectを起動することができます。

Press <Ctrl><A> for SCSISelect (TM) Utility!

最初に表示されるメニューにConfigure/View Host Adapter Settings and SCSI Disk Utilitiesのオプションが表示されます。

NEC PC-9821シリーズでの場合

NEC PC-9821シリーズ上でAHA-2940Ultra/AHA-2940Ultra Wideの設定を行うには、キットに付属のSCSISelect 98 コンフィグレーションユーティリティフロッピーを使います。SCSIホストアダプタをPCIスロットに挿入し、SCSISelect 98をフロッピードライブにセットし、電源投入かコンピュータのリブートでプログラムが起動されます。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

SCSISelectメニューの使用

SCSISelectはメニュー方式で、選択できるオプションを表示します。オプションを選択するには、↑か↓のキーを使い、カーソルを選択したいオプションまで移動し、**Enter**キーを押します。

オプションを選択するため、更に別のメニューを表示させなければならない場合もあります。**Esc**キーを押せば、いつでも前のメニューに戻ることができます。SCSISelectの設定をデフォルト設定に戻したい場合は、**F6**キーを押してください。**F5**キーは、1回押す毎にカラー画面と白黒画面との間で切り換えることができます。(モニタの機種によってはこの機能が使用できない場合があります。また、NEC PC-9821シリーズではこの機能は提供されません。)

SCSISelectの終了

SCSISelectを終了するには、「終了しますか」のメッセージがでるまで**Esc**キーを押して戻ってください(AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideの設定を変えてある場合、終了する前に「変更を保存しますか」と質問するプロンプトが表示されます。このプロンプトで、**Yes**を選択すると終了し、任意のキーを押すとコンピュータはリポートします)。SCSISelectで何か変更した場合には、コンピュータをリポートするまでこの変更は有効となりません。

SCSIディスクユーティリティの使用

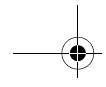
SCSIディスクユーティリティを使用したい場合は、SCSISelect開始後表示されるメニューからSCSIディスクユーティリティオプションを選択してください。一旦オプションが選択されると、SCSISelectは直ちにSCSIバスをスキャンし、全てのSCSI IDとIDが割り当てられたデバイスを並べたリストを表示します。

特定のIDとデバイスを選択すると、サブメニューが表示され、Format DiskとVerify Disk Mediaのオプションが表示されます。

- **Format Disk**—このユーティリティを使用することで、ハードディスクドライブの低レベルフォーマットを行うことができます。ほとんどのSCSIディスクデバイスは、工場出荷時にフォーマットされていますので、再度フォーマットする必要はありません。アダプテックのFormat DiskユーティリティはほとんどのSCSIディスクドライブと互換性があります。



ご注意：低レベルフォーマットを行うとドライブのデータは全て破壊されます。この操作を行う前にデータのバックアップを取っておいてください。低レベルフォーマットは一旦開始してしまうと、途中で止めることはできません。



コンフィグレーション

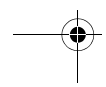
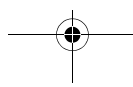
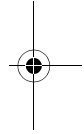
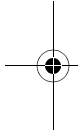


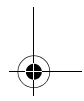
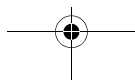
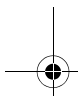
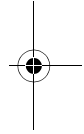
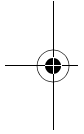
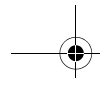
- **Verify Disk Media**—このユーティリティを使用することで、ハードディスクドライブに欠陥がないかスキャンすることができます。このユーティリティがメディアに不良ブロックを発見すると、再度ブロックを割当て直すようにプロンプトを表示します。**yes**を選択すると、これらのブロックを、使用しないようにします。**Esc**キーを押せば、いつでもこのユーティリティを破棄することができます。

デバイスドライバのインストール

オペレーティングシステムの中には、AHA-2940Ultra/2940Ultra Wide デバイスドライバをインストールソフトウェアの一部として内蔵しているものがあります。これらのドライバはAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideで順調に機能しますが、最適レベルでAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideを運用するため最も最新バージョンのドライバを使用するようにしてください。

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをキットで購入した場合、このキットの中には最新のアダプテックデバイスドライバソフトウェアが入っています。それぞれのオペレーティングシステム用ドライバソフトの導入は、キットに付属の別マニュアルを参照してください。





3

アドバンストセットアップと コンフィグレーション

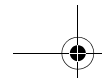
複数のホストアダプタの構成

コンピュータに複数のAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをインストールすることができます。ただし、使用可能なPCIバススロットの数に制限があります。(インストールとセットアップはAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideを1つ導入する場合と同じです。インストールする各ホストアダプタは、異なるSCSIデバイスで別のSCSIバスを作ります。)

コンピュータに複数のホストアダプタを使用する場合は、下記の点に配慮してください。

- AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideからブートする場合は、最も低い番号のPCIバススロットにホストアダプタをインストールしなければならない場合があります。(ほとんどのIBMやIntelベースのPCIシステムでは、このような条件は要求されません。もし、PCIバススロット番号を決める場合には、システムの説明書を参照してください。)
- AT互換機で、2つのAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをインストールしており、それぞれにブートデバイスが接続されている場合は、ホストアダプタは低い番号のPCIバススロットにあるホストアダプタからブートしてください。ブートするホストアダプタを特に選択しておきたい場合は、そのホストアダプタにあるBIOSのみ有効にしてください。

また、NEC PC-9821シリーズでは低い番号のPCIバススロットにあるホストアダプタのBIOSだけが、自動的に有効となります。



AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド



- AT互換機でAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideからブートし、さらにISA/EISAベースのホストアダプタをインストールしている場合は、ISA/EISAベースのホストアダプタにあるBIOSを無効にしてください。

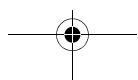
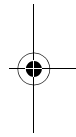
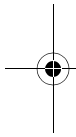
NEC PC-9821シリーズでAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideからブートし、さらにCバス用のホストアダプタをインストールしている場合は、Cバス用のホストアダプタBIOSを無効にしてください。

- AT互換機でISA/EISAベースのホストアダプタからブートし、さらに接続されているブートデバイスによりAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをインストールする場合は、ISA/EISAベースのホストアダプタは、AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideより前にブートするように設定してください。

NEC PC-9821シリーズでCバス用のホストアダプタからブートし、さらにAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideをインストールする場合は、AHA-2940Ultra/2940Ultra WideホストアダプタBIOSは自動的に無効となります。

- SCSISelectユーティリティを実行している時には、ユーティリティが複数のAHA-2940Ultra/2940Ultra Wideホストアダプタがコンピュータに使用されていると判断した場合、各ホストアダプタのPCIバス番号とPCIデバイス番号を表示します。

設定を変更したいホストアダプタのPCIバス番号とデバイス番号を↑と↓の矢印キーで選択し**Enter**を押します。



▼▼▼▼ A

支援が必要なとき

トラブル対策

ホストアダプタに関して発生するほとんどの問題点は、SCSIバスにデバイスを接続したり、インストールしたりしたときのエラーが原因となっています。ホストアダプタの使用中に問題が発生した場合は、先ず下記の点をチェックしてください。

- すべてのSCSIデバイスの電源が、オンになっていますか。
- すべての SCSI バスカابلと電源ケーブルが、正しく接続されていますか。
- ホストアダプタが、バスマスタリングをサポートするPCIスロットにインストールされていますか。
- SCSIバス全体でピン1の方向は正しいですか。(1-10ページの「内部SCSIデバイスの接続」を参照。)
- SCSIバスチャンネルと接続されているホストアダプタと各デバイスに、重複しない独自のIDがついていますか。(1-4ページの「SCSI ID番号」を参照。)
- SCSIバスにあるすべてのデバイスは正しく終端されていますか。特にWide SCSIと50ピンのFast SCSIを同時に使用する場合には注意が必要です。(1-5ページの「SCSIターミネータ」を参照。)
- PCI コンフィグレーションパラメータがコンピュータセットアッププログラムに正しく設定されていますか。(2-1ページの「コンピュータのコンフィグレーション」を参照。)
- SCSIバスにあるすべてのデバイスで、パリティチェック機能が一貫して有効、無効になっていますか。(2-3ページの「ホストアダプタ基本設定」を参照。)

AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド

- SCSI-1やFast SCSIデバイスのみ使用しているにもかかわらず、Ultra SCSI サポートオプションを有効に設定していませんか。

問題点が解決しない場合は、下記の説明に進んでください。

その他の問題と解決

- SCSIハードディスクドライブからブートする場合は、SCSIハードディスクドライブに要求されるように、標準ドライブ (IDEなど) に対応するDrives setting (コンピュータのセットアッププログラムで) が**None**または**No Drives Installed**に設定されているか確認してください (コンピュータの説明書を参照)。



メモ : SCSIとnon-SCSI (たとえば、IDE) の両方のディスクドライブがインストールされている場合は、non-SCSIディスクドライブが必ずブートデバイスになります。

- セットアッププログラムで、またはSCSIデバイスで、ホストアダプタに関する値を変更した場合は、一度電源を切り、再度オンにして新しい値がロードされるか確認しましたか。
- AT互換機上でformat/verifyユーティリティをディスクデバイスでしようとしたが、Unexpected SCSI Command Failureとエラーメッセージが表示された場合、ユーティリティはディスクデバイス、またはメディアに障害などの問題を検知し、そのため実行できないものと考えられます。

問題の原因と解決を示すセンスキー情報から判断することができます (たとえば、06h-Unit Attention)。下記によく表示されるセンスキーの値とその意味を示します。

- 02h - Not ready—メディアはフォーマットの準備ができていません。メディアがドライブに挿入され、スピニングされたか確認してください。
- 03h - Medium error—ディスクメディアに異常があります。異常がリムーバブル・メディアドライブにある場合は、別のディスクメディアを使用するようにしてください。ハードディスクドライブに異常がある場合は、ディスク自体が物理的に損傷していることが考えられます。SCSISelectでメディアを検査し、フォーマットしてください。
- 04h - Hardware error—ディスクドライブに異常があります。ハードウェアの説明書を参照の上、メーカーにお問い合わせください。

支援が必要なとき

- 05h - Illegal request—アダプテックフォーマティングユーティリティは、このデバイスの低レベルフォーマットをサポートしません。ただし、デバイスは既にメーカーで低レベルフォーマットされているかもしれませんが（このエラーは滅多におこりません）。
- 06h - Unit attention—リムーバブル・メディアが書き込み保護されている可能性があります。書き込み保護機能を無効にし、再度ユーティリティを実行してください。

BIOSスタートアップメッセージ

NEC PC-9821シリーズでホストアダプタBIOSが有効になっている場合には、動作の正常、異常にかかわらず何もメッセージは表示されません。

AT互換機でホストアダプタBIOSが有効になっているが、初期化することができない場合、システムはBIOS Installation Failureメッセージの後にエラーメッセージを表示します。下記にエラーメッセージの例と、その意味を示します。

Device connected, but not ready.

このメッセージは、ホストアダプタがインストールしたSCSIデバイスからデータを要求したときに、チャンネルが何の応答も受信しなかったときに表示されます。ホストアダプタのスタートユニットコマンドの転送を**Yes**に設定してみてください。（2-4ページの「SCSIデバイスの設定」を参照してください。）

メッセージが表示されたままになっている場合は、ドライブのメーカーの指示に従い、電源のスイッチがオンになったときにドライブがスピニングするように設定してください。

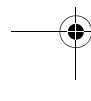
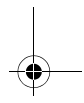
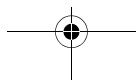
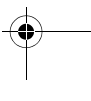
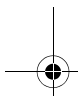
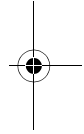
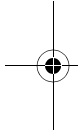
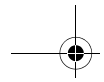
Start unit request failed.

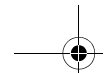
BIOSはデバイスにスタートユニットコマンドを送ることができません。SCSISelectを実行し、そのデバイスのスタートユニットコマンドの転送を無効にしてください。

Time-out failure during

予期しないタイムアウトが発生しました。SCSIバスの終端をチェックしてください。チャンネルからSCSI周辺装置ケーブルを取りはずし、コンピュータを起動してみてください。コンピュータが順調に起動すれば、SCSIバス終端と、ケーブル接続をチェックします。SCSIバス上のデバイスの1つが障害の原因の場合もあります。







▼▼▼▼ 索引

1 GBを超えるドライブ 2-3, 2-7

B

BIOS 1-2, 2-3, 2-8

 Int 13拡張のサポート 2-3, 2-9

 スタートアップメッセージ A-3

 ブート可能なCD-ROMの

 サポート 2-3, 2-9

C

CD-ROM 1-1, 2-3, 2-9

CMOSセットアッププログラム 2-1

Ctrl-Aメッセージの表示 2-3, 2-9

D

DOSのサポート 2-11

F

FAXサポート A-4

Fdiskユーティリティ 2-8

I

Int 13h拡張 2-3, 2-9

IRQ 2-2

L

LEDケーブル 1-12

LEDコネクタ 1-12

LUN 2-3, 2-4, 2-7

N

NetWareのサポート 2-11

O

OS/2のサポート 2-11

P

PCI

 拡張スロット 1-3, 2-1

 コンフィグレーション

 パラメータ 2-1, A-1

 バス 1-1, 2-1, 3-1, A-1

S

SCAM 1-4, 2-3, 2-7

SCSI

 ID番号 1-4, 1-5, 1-10, 1-11,
 2-3, 2-7, 2-10, A-1

 LEDコネクタ 1-2

 外部コネクタ 1-2

 外部デバイス 1-9, 1-11

 ケーブル 1-9

 コネクタ 1-5

 コンフィグレーションについて .. 1-4

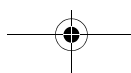
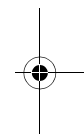
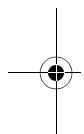
 ターミネータ 1-5 - 1-8, 1-10,
 1-11, 2-3, 2-4, A-1

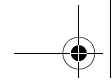
 ディスクユーティリティ .. 2-10, A-2

 デバイス 1-1, 1-4

 デバイス設定 2-4

 デバイスのインストール 1-9





AHA-2940Ultra/2940Ultra Wideユーザーズ・ガイド



内部コネクタ	1-2
内部デバイス	1-9, 1-10
バス	1-5, 3-1
パリティチェック	2-3, 2-4, A-1
ファーストSCSIデバイス	1-10
プラグの終端	1-11
プロトコルチップ	1-2
ワイドSCSI	2-3, 2-6
SCSI Configured AutoMatically	
[参照]SCAM	
SCSISelect	1-1, 1-5, 2-2
SCSI IDのリストの表示	2-10
開始方法	2-9
カラーモードと白黒モード	2-10
終了方法	2-10
デフォルト設定	2-2
デフォルト設定に戻す	2-10
複数のホストアダプタの構成	3-2
メニューの使用	2-10

U

UNIXのサポート	2-11
-----------	------

W

Windows NTのサポート	2-11
Windowsのサポート	2-11

あ行

アダプテックテクニカルサポート	A-4
アドバンストセットアップと コンフィグレーション	3-1
インストール	1-1
SCSIデバイス	1-4, 1-9
外部SCSIデバイス	1-11
デバイスドライバ	2-11
内部SCSIデバイス	1-10
複数のドライブ	2-3
ホストアダプタ	1-3

か行

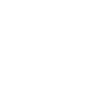
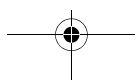
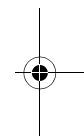
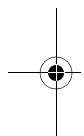
拡張BIOS変換機能	2-3, 2-7
拡張スロット	1-3, 3-1, A-1
ケーブル	1-9, 1-10, 1-11
コネクタ	1-2
コンピュータの再組立	1-12
コンフィグレーション (Configuration)	
PCIコンフィグレーション パラメータ	2-1, A-1
ガイドライン	1-4
コンピュータの構成	2-1
複数のホストアダプタ	3-1
ホストアダプタの構成	2-2
コンポーネント	1-2

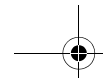
さ行

最大同期転送速度	2-3, 2-5
自動終端	1-5
スキャナ	1-1
スタートアップメッセージ	A-3
スタートユニットコマンドの転送	2-3, 2-6
センスキー情報	A-2

た行

ターミネータ	
[参照]SCSIターミネータ	
デジチェーン	1-11
ディスクユーティリティ	2-10, A-2
ディスクメディアの検査	2-11
低レベルフォーマット	2-10
ディスクコネクタ/リコネクタ	2-3, 2-5
ディスクコネクタ可能	2-3, 2-5
テープバックアップ	1-1
デバイス設定	2-4
デバイスドライバ	2-11
デフォルト設定	2-2
電源ケーブル	1-10
転送速度	2-3, 2-6





索引

同期データ転送 2-3, 2-4, 2-5
 同期ネゴシエーション 2-3, 2-4
 同期ネゴシエーションの開始 2-3, 2-4
 トラブル対策 A-1 - A-3

は行

ハードディスクドライブ 1-1
 バスマスタリング 1-3, 2-1, A-1
 パリティチェック 2-3, 2-4, A-1
 ピン1の方向 1-10, A-1
 ブート
 CD-ROMから 2-3
 Ctrl-A メッセージの表示 2-3
 non-SCSI デバイスから 3-2
 SCSI デバイスから 2-4
 ブート LUN 番号 2-3, 2-4
 ブート SCSI ID 2-3, 2-4
 ブート可能な CD-ROM 2-3, 2-9
 ブートターゲット ID 1-5
 ブートデバイス 1-5, 2-3, 2-4
 複数の LUN サポート 2-3, 2-4, 2-7
 複数のホストアダプタ 3-1
 プラグの終端 1-11
 プラグ&プレイ 2-3, 2-7
 ボードのレイアウト 1-2
 ホストアダプタ
 BIOS 2-8
 SCSI ID 2-3
 アドバンスト設定 2-7, 2-3
 基本設定 2-3
 コンポーネント 1-2
 レイアウト 1-2
 ホストアダプタのアドバンスト
 設定 2-3, 2-7
 ホストアダプタの基本設定 2-3

ま行

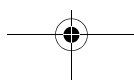
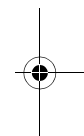
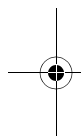
メッセージ A-3

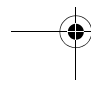
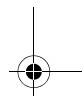
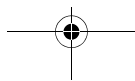
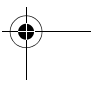
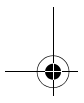
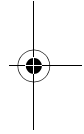
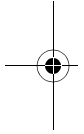
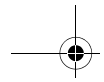
ら行

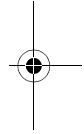
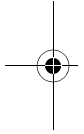
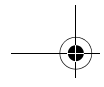
リムーバブル・メディア
 ドライブ 1-1, 2-3, 2-8
 論理ユニット番号
 [参照]LUN

わ行

ワイド SCSI 2-3, 2-6
 ワイドネゴシエーションの開始 2-3, 2-6







Adaptec, Inc.
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, CA 95035

© 1997-2001 Adaptec, Inc.
All rights reserved. Adaptecと
アダプテックのロゴは Adaptec, Inc.の
登録商標です。

Printed in Singapore
STOCK NO.: 511827-00JA, Rev. B

